あんしん設定

暗証番号について

FOMA端末で利用する暗証番号について 118
端末暗証番号の変更 ..... ＜端末暗証番号変更＞ 119
PINコードの設定 ..... ＜PINコード設定＞ 119
PINロックの解除 121

携帯電話の操作や機能を制限します

他の人が使用できないようにする ..... ＜オールロック＞ 122
紛失時などに使用できないようにロックする ..... ＜おまかせロック＞ 123
発信や着信ができないようにする ..... ＜セルフモード＞ 124
シークレット属性が設定された情報の表示 ..... ＜シークレットモード＞ 124
リダイヤル／着信履歴などの表示制限 ..... ＜履歴表示制限＞ 125
電話帳やメールなどの表示制限 ..... ＜個人情報表示制限＞ 125
ボタンを使用する電話発信の禁止 ..... ＜ダイヤル発信制限＞ 126
閉じるたびにボタンをロックする ..... ＜開閉ロック＞ 127

発着信や送受信を制限します

電話番号を指定して着信許可／拒否 ..... ＜電話帳指定着信拒否／許可＞ 128
発信者番号が不明な電話を拒否 ..... ＜非通知理由別着信設定＞ 129
電話帳未登録者からの着信音を無音にする ..... ＜無音着信時間設定＞ 131
電話帳未登録者からの電話を拒否 ..... ＜登録外着信拒否＞ 132

その他の「あんしん設定」について

お預かりセンターにバックアップする ..... ＜ケータイデータお預かりサービス＞ 132
各種機能の設定をリセット ..... ＜各種設定リセット＞ 136
登録したデータを一括して削除 ..... ＜データ一括削除＞ 137
その他の「あんしん設定」について 138

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.119

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、待受画面で[i-mode]▶「[1] i Menuを見る」▶「お客様サポート／お知らせ」▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.221

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

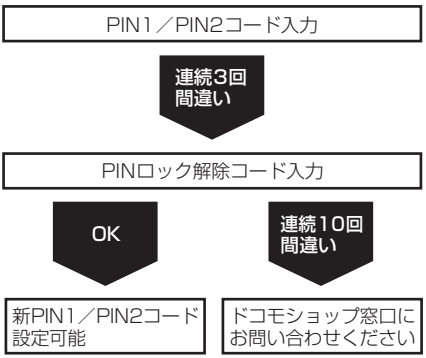
ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.120
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。



お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、ｉモードパスワード、PIN1コード、PIN2コードはご契約後にお好きな番号に変更してください。

端末暗証番号の変更

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。ご契約時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。〈端末暗証番号変更〉

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[7]端末暗証番号を変更する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

新しい端末暗証番号を入力する入力画面が表示されます。

3 新しい端末暗証番号を入力▶決定を押す

確認のため新しい端末暗証番号を再度入力する入力画面が表示されます。

4 操作3で入力した新しい端末暗証番号をもう一度入力▶決定を押す

端末暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

PINコードの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定したり、PIN1／PIN2コードを変更したりします。〈PINコード設定〉

- PINコードの設定はドコモUIMカードに記録されます。ドコモUIMカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を設定します。

PIN1コード使用

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。
- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「8ドコモUIMカードのPINコードを設定する」を押す

ドコモUIMカードのPINコード設定の画面が表示されます。

2 「3PIN1コード使用」を押す

PIN1コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1使用する」または「2使用しない」を押す

PIN1コード入力画面が表示されます。
PIN1コードは3回入力できます。

4 PIN1コードを入力▶決定を押す

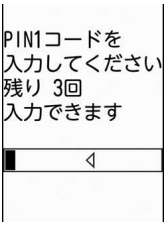
PIN1コードを使用する／しない旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
- 現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。
- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
- 本機能を設定した後に、FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

PIN1コード使用を設定すると

FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。
- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 FOMA端末の電源が入っていない状態で(電源)を2秒以上押す

電源が入ります。



2 PIN1コードを入力▶決定を押す

PIN1コードが認識された旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

お知らせ
- PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、PIN1コードがロックされます。決定を押すか、約5秒たつとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→p.121
- 通知時刻自動電源ON設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。(電源)を押すと、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1／PIN2コードの変更

PIN1／PIN2コードの暗証番号を変更します。ご契約時はどちらも「0000」に設定されています。
- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→p.120
- PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用します。→p.236、p.355
- 入力したPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「8ドコモUIMカードのPINコードを設定する」を押す

ドコモUIMカードのPINコード設定の画面が表示されます。

2 **「1 PIN1コード変更」または「2 PIN2コード変更」を押す**

PIN1／PIN2コード入力画面が表示されます。PIN1／PIN2コードは3回入力できます。

3 **現在のPIN1／PIN2コードを入力▶決定を押す**

新しいPIN1／PIN2コードを入力する入力画面が表示されます。

4 **新しいPIN1／PIN2コードを入力▶決定を押す**

確認のため新しいPIN1／PIN2コードを再度入力する入力画面が表示されます。

5 **操作4で入力した新しいPIN1／PIN2コードをもう一度入力▶決定を押す**

PIN1／PIN2コードを変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN1／PIN2コードの入力に失敗すると、PIN1／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。
- 操作4で入力した新しいPIN1／PIN2コードと一致しない場合、新しいPIN1／PIN2コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作4からやり直してください。

お知らせ

- 現在のPIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、決定を押すとPIN1コード／PIN2コードがロックされます。決定を押すか、約5秒たつとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→p.121
- PIN2コードを連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックの解除

PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

1 **PINロック解除コード入力画面でPINロック解除コードを入力▶決定を押す**

新しいPIN1／PIN2コードを入力する入力画面が表示されます。

2 **新しいPIN1／PIN2コードを入力▶決定を押す**

確認のため新しいPIN1／PIN2コードを再度入力する入力画面が表示されます。

3 **操作2で入力した新しいPIN1／PIN2コードをもう一度入力▶決定を押す**

PINロック解除コードが認識された旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、PINロック解除コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。
- 操作2で入力した新しいPIN1／PIN2コードと一致しない場合、新しいPIN1／PIN2コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。

他の人が使用できないようにする

各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。〈オールロック〉

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して(t)を押します。
※端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

オールロックの設定

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「8操作の制限をする」▶「2全ての操作を制限する」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す
全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。待受画面に「全ての操作を制限しています」と表示されます。
- オールロック中は、FOMA端末を閉じているときに(i)または(+)(−)を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

オールロックの解除

1 オールロック中に待受画面で端末暗証番号を入力▶決定を押す
全ての操作の制限を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダー、マチキャラ、iアプリを表示するように設定していても、オールロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。
- 電話帳指定着信拒否／許可、登録外着信拒否の設定に関わらず着信します。
- 開閉ロックを「設定する」に設定していても、オールロックが優先されます。
- オールロック中は、目覚ましや予定の通知は動作しません。
- オールロック中でもつながりほっとサポートの利用記録は継続されますが、待受画面のキャラクターとメッセージは表示されません。
- 次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける操作※1、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - iモードメールやSMS、メッセージR/Fの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - エリアメールの受信
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータの自動更新

※1 電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻ります。オールロックを解除すると着信履歴に表示されます。
※2 着信時や受信時の動作はしません。

紛失時などに使用できないようにロックする

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データにロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合は自動的にロックがかかります。ただし、解約・電話番号保管・電話番号変更を行った場合や紛失時などで新しいドコモUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合は、1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。〈おまかせロック〉

※ ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360
受付時間　24時間（年中無休）
※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。
※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、FOMA端末を閉じているときにiまたは+-を押すと、背面ディスプレイに「おまかせロック中」と表示されます。
- 電源を入れる／切る操作や、電話を受ける操作以外のボタン操作ができなくなります。ただし、ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

お知らせ

- 電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは、お買い上げ時の状態に戻ります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末に電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックおよびロック解除ができない場合があります。
- 電源を入れ直してもロックは解除されません。
- ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

発信や着信ができないようにする

電話の発着信やメールの送受信だけでなく、サイト接続、赤外線通信、データ通信などすべての通信機能や声の宅配便を利用できないようにします。
〈セルフモード〉
- 緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、発信後に本機能は解除されます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[3]セルフモードを設定する」を押す
セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]設定する」または「[2]解除する」を押す
セルフモードを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部にSELFが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイにSELFが表示されます。

お知らせ
- 本機能を使用中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- セルフモード中に電話の着信があっても、セルフモード解除後、ディスプレイに「着信あり」は表示されず、着信履歴にも記録されません。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、本機能を解除しても留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。
- 本機能設定中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。受信する場合は本機能を解除してからｉモード問い合わせ、SMS問い合わせを行ってください。
- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

シークレット属性が設定された情報の表示

本機能を設定すると、シークレット属性を設定している電話帳やスケジュール帳を表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも本機能を設定する必要があります。
〈シークレットモード〉

シークレットモードの設定

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[4]シークレットモードに設定する」を押す
シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]設定する」または「[2]解除する」を押す
端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 解除したときは、端末暗証番号入力画面は表示されません。

3 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す
シークレットモードを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。
- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部にが表示されます。

シークレットモードの解除

1 シークレットモード中に待受画面で(ー)を押す
シークレットモードが解除されます。
- シークレットモード解除後、シークレット属性を設定している電話帳やスケジュール帳は表示されなくなります。

お知らせ
- 電話帳にシークレット属性を設定する→p.91
- 予定にシークレット属性を設定する→p.352
- 本機能設定中に電源を切ると、本機能は解除されます。

リダイヤル／着信履歴などの表示制限

リダイヤル／着信履歴などの表示を制限して、他人に発着信情報を知られないようにします。〈履歴表示制限〉

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[5]電話の履歴表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

着信履歴／リダイヤル／伝言メモ／通話音声メモの表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]制限する」または「[2]制限しない」を押す

履歴表示を制限／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ、通話メモ
- 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。
- 本機能を「制限する」に設定しても、伝言メモまたは通話メモの録音はできます。
- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

電話帳やメールなどの表示制限

電話帳、ｉモード（らくらくサイトボタンの利用を含む）、ｉチャネル、メール、ｉアプリ、カメラ（アルバムや拡大鏡、手書きメモ、バーコード読取り、音声コードを含む）、ビデオ（アルバムや映像のない動画／ｉモーションの利用を含む）、スケジュール、メモ、目覚まし、赤外線通信、データ通信などのメニューを制限します。また、個人情報に関する機能を利用できないように一時的に制限します。〈個人情報表示制限〉

- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。→p.132

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[6]個人の情報表示を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

個人の情報表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]制限する」または「[2]制限しない」を押す

個人の情報表示を制限／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。

お知らせ

- ドコモUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。
- 本機能を使用中に制限されている機能をメニューから選択すると、個人の情報表示が制限されている旨のメッセージが表示され実行できません。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- 本機能を使用中でも発着信は記録されます。リダイヤル／着信履歴、ダイヤル入力による電話発信ができます。
- メールの自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メールの設定もできません。
- 本機能を使用中に声の宅配便でメッセージを録音する場合、電話帳は利用（選択）できません。

- 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきたりメールを受信したりしても、相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。
- 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態に戻ります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダのデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。
- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。
- 歩数計・活動量計での歩数のカウントは行いますが、その他の操作はできません。
- つながりほっとサポートの利用記録は継続されますが、その他の操作はできません。待受画面のキャラクターとメッセージも表示されません。
- イヤホンスイッチ設定によるイヤホンスイッチを利用しての電話発信はできません。

ボタンを使用する電話発信の禁止

電話帳やワンタッチダイヤルボタンを利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。〈ダイヤル発信制限〉

- ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[9]ダイヤル入力での発信を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]制限する」または「[2]制限しない」を押す

ダイヤル入力での発信を制限／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面に🔕が表示されます。

ダイヤル入力での発信を制限すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 個人情報の登録、修正
  - ダイヤル入力による発信
  - リダイヤルや着信履歴からの発信※1
  - 外部機器と接続しての発信※2
  - 電話帳の登録、修正、削除、シークレットコード入力
  - FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳間でのコピー
  - ワンタッチダイヤルの新規登録、電話帳の修正
  - 待受画像配信元設定のメールアドレスの入力
  - iモードメール／SMSの送信※3、メール送受信履歴からの送信※3
  - Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To機能
  - 電話帳と個人情報の赤外線送受信
  - microSDカード内の電話帳の参照
  - 電話帳のmicroSDカードへの保存／復元
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1 電話帳やワンタッチダイヤルに登録している相手への発信や送信はできます。

※2 外部機器からFOMA端末電話帳のメモリ番号を指定しての発信はできます。

※3 電話帳やワンタッチダイヤルを利用しての送信、または電話帳やワンタッチダイヤルに登録された相手からのメールに返信はできます。

お知らせ

- 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

閉じるたびにボタンをロックする

開閉ロックを設定すると、FOMA端末を閉じるたびに、[+][−]以外のボタンがロックされます。FOMA端末を開くたびに端末暗証番号の入力が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。〈開閉ロック〉

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して[C]を押します。

※端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- 次の場合は、開閉ロックがかかりません。
  - 発信中※1、2、着信中※2、通話中※1、2、保留中※1、2、切断中※1、2
  - エリアメール受信中（内容表示中を含む）※2
  - メロディ再生中（添付メロディ再生中は除く）
  - 目覚まし（スヌーズ動作中を含む）、予定の通知、お知らせタイマー鳴動中（停止中、カウントダウン中を含む）
  - ソフトウェア更新中
  - iモーション再生中（再生画面表示中を含む）
  - 64Kデータ通信※2、USB接続によるデータ転送※2、赤外線によるデータ転送※2

※1 ステレオイヤホンマイク 01（別売）を接続している場合の動作です。

※2 FOMA端末を閉じている状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

開閉ロックの設定／解除

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[8]操作の制限をする」▶「[1]開閉ロックを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

開閉ロックを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]設定する」または「[2]解除する」を押す

開閉ロックを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

開閉ロックが起動すると

FOMA端末を閉じるたびに開閉ロックが起動すると、[+][−]以外のボタンがロックされます。このとき、背面ディスプレイには「開閉ロック成功」と表示され、ランプが約4秒間点灯し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。また、FOMA端末を閉じても開閉ロックが起動しなかったときは、ランプが約2秒間点滅し、開閉ロックが起動しなかったことをお知らせします。

- 解除するときは、FOMA端末を開いて端末暗証番号の入力を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、[メニュー]を押して端末暗証番号を入力してください。

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面やiアプリ画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダー、ｉアプリを表示するように設定していても、開閉ロック中はお買い上げ時の画像が表示されます。
- 本機能を設定中に電源を入れ直すと、端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号の入力をしなかった場合は開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 電話を受ける操作、緊急通報（110番、119番、118番）への発信
  - 伝言メモまたは通話メモの録音
  - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - エリアメールの受信
  - おまかせロックの起動
  - 予定の通知
  - 目覚まし
  - イヤホンスイッチ発信
  - つながりほっとサポートの利用
  - ソフトウェア更新
  - パターンデータの自動更新

※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

電話番号を指定して着信許可／拒否

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。着信拒否／許可相手の登録を行っただけでは設定されません。必ず着信拒否／許可の設定も行ってください。〈電話帳指定着信拒否／許可〉

- あらかじめ電話帳の登録が必要です。→p.81
- 番号通知お願いサービス（→p.381）や非通知理由別着信設定（→p.129）を併用することをおすすめします。

着信拒否／許可相手の登録

- 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
- ドコモUIMカード電話帳から指定することはできません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[4]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[1]着信を拒否する相手を指定する」または「[2]着信を許可する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

登録した相手を着信拒否／許可に設定する画面が表示されます。

3 **「[3]相手を登録する」を押す**

着信拒否／許可登録一覧画面が表示されます。

4 **登録先の番号を選択▶決定を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

■ 登録済みの相手を変更する場合：**相手を選択▶(メニュー)▶「[1]編集する」を押す**

操作5に進みます。

■ 登録済みの相手を削除する場合：**相手を選択▶(メニュー)▶「2削除する」▶「1削除する」を押す**

登録データを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと着信拒否／許可登録一覧に戻ります。

5 登録する相手を検索して選択▶決定を押す

着信を拒否／許可する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつと着信拒否／許可登録一覧に戻ります。

- 検索方法→p.84
- (戻る/チャネル)を押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。以降の操作は「着信拒否／許可の設定」操作3をご覧ください。→p.129

お知らせ

- シークレット属性を設定した電話帳は、着信拒否／許可登録一覧では［**********］と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。シークレットモード中は名前が表示され、着信拒否／許可の動作が行われます。
- 登録した相手の電話帳を修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可の設定

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。あらかじめ着信拒否／許可相手の登録が必要です。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「1着信を拒否する相手を指定する」または「2着信を許可する相手を指定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

登録した相手を着信拒否／許可に設定する画面が表示されます。

3 「1設定する」または「2解除する」を押す

着信拒否または着信許可を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

- 着信を拒否／許可する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。決定を押して相手を登録してください。以降の操作は「着信拒否／許可相手の登録」操作3以降をご覧ください。→p.128

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

発信者番号が不明な電話を拒否

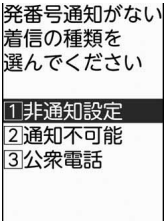
発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由ごとに着信動作を設定します。〈非通知理由別着信設定〉

- 電話番号が通知されない理由（発信者番号非通知理由）について→p.66

1 待受画面で(メニュー)▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「4発番号なしの着信動作を選ぶ」を押す

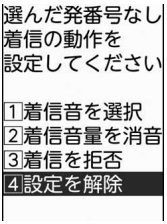
端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す



1 **非通知設定**：非通知による着信動作を設定します。
2 **通知不可能**：通知不可能の着信動作を設定します。
3 **公衆電話**：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「1非通知設定」～「3公衆電話」のいずれかを押す



1 **着信音を選択**：発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
2 **着信音量を消音**：着信音を鳴らさないようにします。
3 **着信を拒否**：着信を拒否します。
4 **設定を解除**：着信動作の設定を解除します。

4 「1着信音を選択」～「4設定を解除」のいずれかを押す

- 「2着信音量を消音」～「4設定を解除」のいずれかを押した場合は操作6に進みます。

5 「1メロディ」または「2着モーション」▶フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- 「iモードで探す」を選択して決定▶「1接続する」を押すと、iモードサイトからメロディまたはiモーションを探せます。→p.229、p.240
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法は「電話着信時の着信音の変更」操作5をご覧ください。→p.102

6 決定を押すまたは約5秒後に発番号通知がない着信の種類を選択する画面に戻る

- 着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。

お知らせ

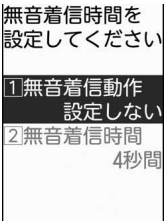
- 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- 本機能と番号通知お願いサービス（→p.381）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。
- 発信者番号が通知されない電話がかかってくると、電話は着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。→p.102

電話帳未登録者からの着信音を無音にする

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。〈無音着信時間設定〉

- 本機能を使用中は、次のように動作します。
  - 待受中または通話中に電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「ププ…ププ…」という通話中着信音（→p.67）が受話口から聞こえます。
  - 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と📳も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示できます。表示方法については「着信履歴の表示」のお知らせをご覧ください。→p.59
  - 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。
- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 待受画面で(メニュー)▶「＊設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「4電話・電話帳の詳細を設定する」▶「7無音着信時間を設定する」を押す



1 **無音着信動作**：本機能を有効にするかどうかを設定します。

2 **無音着信時間**：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 「1無音着信動作」を押す

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1設定する」または「2設定しない」を押す

無音着信時間の設定画面が表示されます。

- 「2設定しない」を押した場合は操作5に進みます。

4 無音着信時間を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 1～99秒の間で入力します。

5 (電話帳)を押す

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
  - 個人情報表示制限中（→p.125）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
  - 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき
- 伝言メモ（→p.75）、留守番電話サービス、転送でんわサービスを設定しているとき、本設定を優先させるためには、伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりも無音着信時間設定の呼出時間を短く設定してください。
- 公共モード中は、本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.128）、非通知理由別着信設定（→p.129）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 本機能とオート着信設定（→p.359）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信設定の応答時間以上に設定すると、オート着信設定は動作しません。
- 本機能とオートスピーカーホン機能（→p.68）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

電話帳未登録者からの電話を拒否

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときに着信を拒否します。〈登録外着信拒否〉

- 電話がかかってきたときの表示については「電話を受ける」操作1をご覧ください。→p.66
- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知理由別着信設定に従って動作します。非通知理由別着信設定（→p.129）、および番号通知お願いサービス（→p.381）を併用することをおすすめします。
- 個人情報表示制限中（→p.125）や無音着信時間設定中（→p.131）は、本機能を使用できません。

1 待受画面で メニュー ▶「＊設定を行う」▶「＃その他の設定を行う」▶「4 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「3 電話帳登録外の着信を拒否する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定 を押す

電話帳に登録されていない相手からの着信を受けるかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 拒否する」または「2 許可する」を押す

電話帳登録外の着信を拒否／許可するように設定した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すか、約5秒たつとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳未登録の相手やシークレット属性を設定した電話帳からシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

お預かりセンターにバックアップする

FOMA端末に保存されている電話帳、画像、メール、スケジュール、トルカを、ドコモのお預かりセンターにバックアップ（保存）することができ、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。〈ケータイデータお預かりサービス〉

- ケータイデータお預かりサービスの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

■ 自動更新機能について

- 電話帳、スケジュール、トルカは自動更新機能により定期的に自動でバックアップできます。自動更新の設定は、「お預かりサービスサイト」よりご確認・変更してください。→p.134
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますのでご注意ください。

各種データをお預かりセンターにバックアップ

ケータイデータお預かりサービスを利用して、FOMA端末に保存してある電話帳、画像、iモードメール、SMS、スケジュール、トルカをお預かりセンターにバックアップします。

- 画像、トルカのデータは、著作権保護されていないデータのみお預かりセンターにバックアップできます。
- iモードメールにデータが添付されている場合は、バックアップするときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたデータを除く）は削除されません。
- 送達通知はバックアップできません。
- 画像を含むトルカ（詳細）は、詳細が含まれずにバックアップされる場合があります。

〈例〉電話帳をお預かりセンターにバックアップする

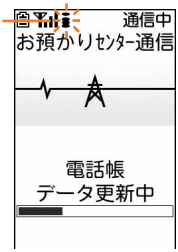
1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[*]ケータイデータお預かりサービスを使う」▶「[1]お預かりセンターに接続する」を押す**

FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話帳からお預かりセンターにバックアップする場合：待受画面で(電話帳)▶(メニュー)▶「[9]コピー／お預り」▶「[2]お預りセンター接続」を押す

2 **「[1]接続する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

点滅します。



- 中止するときはバックアップ中に(決定)を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

3 **通信結果画面を確認する**

(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

〈例〉受信メールをお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(✉)▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶(決定)を押す**

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法は「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2をご覧ください。→p.170

2 **バックアップするメールを選択▶(メニュー)▶「[*]お預りセンター保存」を押す**

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 未送信／送信メールをバックアップする場合は、バックアップするメールを選択▶(メニュー)▶「[9]お預りセンター保存」を押します。

3 **「[1]保存する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

- 中止するときはバックアップ中に(決定)を押します。
- バックアップが完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

4 **(決定)または約5秒後▶通信結果画面を確認する**

(決定)を押すと受信メール一覧に戻ります。

〈例〉画像をお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[2]写真・画像を見る」▶アルバムを選択▶(決定)を押す**

2 **バックアップする画像を選択▶(メニュー)▶「[*]お預りセンター保存」を押す**

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]保存する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

- 中止するときはバックアップ中に(決定)を押します。
- バックアップが完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

4 **(決定)または約5秒後▶通信結果画面を確認する**

(決定)を押すと画像一覧画面に戻ります。

〈例〉スケジュールをお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2スケジュール帳・目覚ましを使う」▶「1予定を見る・登録する」を押す**
カレンダー画面が表示されます。

2 **バックアップする日付を選択▶決定を押す**
予定一覧画面が表示されます。

3 **(メニュー)▶「8お預りセンター接続」を押す**
FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**
- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

5 **通信結果画面を確認する**
決定を押すと待受画面に戻ります。

〈例〉トルカをお預かりセンターにバックアップする

1 **待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「#トルカを使う」を押す**
トルカ一覧が表示されます。

2 **(メニュー)▶「8お預りセンター接続」を押す**
FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**
- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

4 **通信結果画面を確認する**
決定を押すと待受画面に戻ります。

バックアップしたデータを復元する場合

- 電話帳の復元や自動更新設定などは、ｉモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。
  待受画面で(iモード)▶「1ｉMenuを見る」▶「マイページ」▶「ドコモのサービス」内の「ケータイデータお預かり※」
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 自動更新や復元などの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

- ドコモUIMカード電話帳の電話帳はバックアップできません。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。
- FOMA端末電話帳の電話帳を削除した場合は、次の手順でｉモードのケータイデータお預かりサイトから電話帳を復元できます。
  - 待受画面で(iモード)▶「1ｉMenuを見る」▶「マイページ」▶「ドコモのサービス」内の「ケータイデータお預かり※」▶「お預かりデータ確認」▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」▶「電話帳」内の「ケータイへの復元」▶「OK」を押します。復元が開始されるため、通信を終了して待受画面に戻します。
  ※ ｉコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり／ｉコンシェル」と表示されます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能を起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源が入っていないときやFOMAサービスエリア外にいるとき、ドコモUIMカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新が失敗したときは、待受画面にお知らせ情報（→p.25）と✉が表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、手動でお預かりセンターに接続して電話帳をバックアップしてください。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。

- 電話帳をお預かりセンターにバックアップすると、画像を除くワンタッチダイヤルの登録内容もバックアップされます。ただし、FOMA端末の機種変更などで、お預かりセンターから電話帳を復元する場合はすべて上書きされます。また、ワンタッチダイヤルに登録している電話番号などをMy docomoのサイトで削除した場合は、ワンタッチダイヤルの登録内容が正しく引き継げない場合があります。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像やFlash画像はバックアップ／復元できません。
- 「microSDの写真」「内蔵写真」「アイテム」アルバムの画像はバックアップできません。
- 復元操作の詳細はドコモのホームページをご覧ください。なお、復元したメールは次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターにバックアップされている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - バックアップされているメールの保護が最大保護件数に達している場合
- 日付・時刻を設定していないときに、スケジュール帳の自動更新があった場合は自動更新できません。日付・時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。
- トルカをお預かりセンターから自動更新後、初めてトルカを参照した場合は、このトルカを保存するかの確認画面が表示されます。「保存する」を選択すると保存されますが、「削除する」を選択した場合は参照しているトルカが削除されます。

iコンシェルからお預かりセンターにバックアップ

iコンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、スケジュール、トルカをお預かりセンターにバックアップできます。お預かりセンターに接続することによって、それらのデータをFOMA端末に更新・復元することができます。

- iコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面でメニュー▶「7 iコンシェルを使う」を押す

契約情報取得中の画面が表示され、iコンシェルのインフォメーション一覧が表示されます。

2 メニュー▶「設定」▶「3 お預かりデータの確認・設定・更新をする」▶「3 電話帳やスケジュールなどの更新をする」を押す

FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にする選択画面が表示されます。

3 「1 電話帳」～「3 トルカ」のうち、バックアップする項目の番号を押す

項目の☐が☑に変わります。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 電話帳を押す

FOMA端末内に保存されているデータを最新の状態にするかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1 接続する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

- 中止するときはバックアップ中に決定を押します。
- バックアップが完了すると、通信結果画面が表示されます。

6 通信結果画面を確認する

決定を押すとiコンシェルのお預かりメニュー画面に戻ります。

お預かりセンターと通信した履歴の表示

各機能でお預かりセンターにバックアップした通信履歴を確認できます。〈通信履歴表示〉

- 通信履歴は最大30件記録できます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[*]ケータイデータお預かりサービスを使う」▶「[2]通信履歴を表示する」を押す**

通信日時一覧画面が表示されます。

2 **確認する履歴を選択▶決定を押す**

通信履歴詳細画面が表示されます。決定または(戻る/チャネル)を押すと通信日時一覧画面に戻ります。

各種機能の設定をリセット

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

〈各種設定リセット〉

- メニュー一覧のオレンジ色の文字の機能を、お買い上げ時の状態に戻します。→p.390
- 「メニュー一覧」に記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。

リセットする項目	お買い上げ時の状態に戻る機能／データ
基本設定	マナーモード、公共モード（ドライブモード）、ワンタッチダイヤル登録、簡単メール作成、メールの表示サイズ設定、使いかたガイドの文字サイズ（詳細画面も含む）
メール設定	かんたんデコメ装飾設定
iモード設定	キャッシュデータ
iアプリ設定	iアプリ一覧のソフトの並べ替え、アイコン表示とリスト表示の切り替え
予測辞書データ	予測変換機能で登録されたデータ
ユーザ辞書データ	単語登録のデータ

1 **待受画面で(メニュー)▶「[*]設定を行う」▶「[#]その他の設定を行う」▶「[7]情報の表示やリセットを行う」▶「[7]設定を初めの状態に戻す」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

3 **「1基本設定」～「0歩数計設定」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す**

チェックボックスが☑から☐に切り替わり、選択が解除されます。

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

4 **電話帳を押す**

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「1戻す」を押す**

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- iモード設定をリセットすると、待受画面にiチャネルの情報がテロップ表示されなくなります。待受画面で戻る(チャネル)を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。

登録したデータを一括して削除

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

〈データー括削除〉

- 保護したデータも削除されます。
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - お買い上げ時に登録されているデータ
  - つながりほっとサポートの利用記録停止／再開の設定
  - ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- お買い上げ時に登録されているiアプリは、お買い上げ時の状態に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されている「メモ」以外のiアプリを最新にした場合は削除されます。
- 受信メールの「受信箱」フォルダに保存されている「はじめまして」「ベーシック3のご紹介」を削除した場合は、再び保存されます。

1 **待受画面でメニュー▶「*設定を行う」▶「#その他の設定を行う」▶「7情報の表示やリセットを行う」▶「8本体内データを全て削除する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶決定を押す**

本体内の全てのデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1削除する」を押す**

FOMA端末が再起動します。

お知らせ

- データー括削除の再起動後は、初めて電源を入れたときの画面が表示されます。→p.48
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

その他の「あんしん設定」について

ドコモでは、本章でご紹介した以外にも、「あんしん」に関するさまざまな機能やサービスをご提供しております。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。